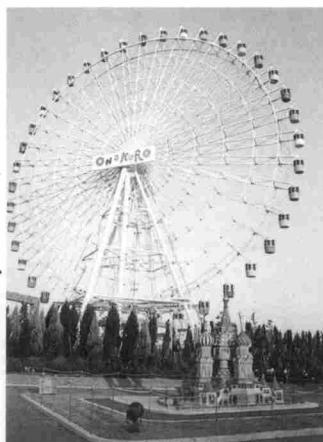


②舞子海上プロムナード

4月5日に神戸側の橋げたの中に開設。回遊式の遊歩道や、食事・買い物もできる展望ラウンジ、展望広場から、瀬戸内海の美しい風景が楽しめます。



⑨淡路ワールドパーク ONOKORO

世界の有名建築物のミニチュアや、ジェットコースター、観覧車などを備え、さまざまな文化や未知の世界との出会いを楽しく演出。3月22日、津名町に開園します。

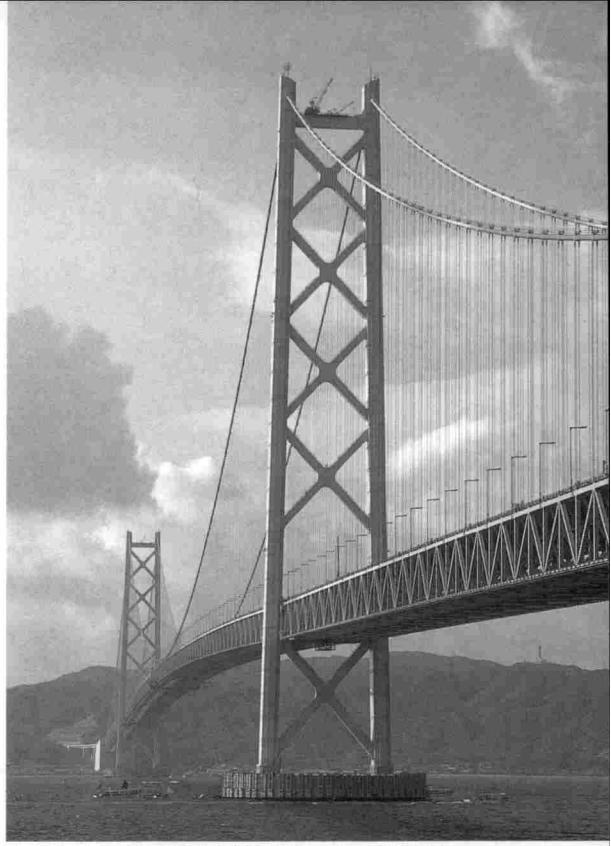


→⑤道の駅「あわじ」

「一般道路のサービスエリア」として、淡路町の文化・歴史・観光・特産物の情報を提供します。3月26日から供用開始予定。

→⑥淡路島公園ハイウェイオアシス
レストラン、展示室などを備えたオアシス館を中心に4月5日、淡路町にオープン。展望広場からは、大橋をのぞむ壮大なパノラマ景観が楽しめます。

明石海峡大橋の開通とあわせて 新たな観光施設がオープン！



↑4月5日に開通する明石海峡大橋（愛称：パールブリッジ）



明石海峡大橋アクセス図



【明石海峡大橋への接続】

●遠方から自動車専用道路を利用する場合

明石海峡大橋へ（から）は、山陽自動車道、阪神高速北神戸線、第二神明道路、第二神明道路北線（仮称）などから、すべて垂水、ICTを経由して接続。

●大橋近辺のICを利用する場合

- 神戸淡路鳴門自動車道の垂水ICから大橋へ。(ただし、垂水ICは、大橋方面のみへ(から)の利用)
- 第二神明道路北線(仮称)の長坂ICから垂水JCTを経由して大橋へ。(学園南ICは姫路方面のみの利用)

□第二神明道路玉津ICから第二神明道路北線（仮称）を経由して垂水JCTから太橋へ

※大藏谷・高丸・名谷ICからは大橋へ接続しません。

【新しくオープンする主な施設】

①橋の科学館：模型・写真・映像で長大橋梁技術を紹介(神戸市)。

②舞子海上プロムナード（右頁上：写真）

③アジュール舞子(神戸市)、④大蔵海岸(明石市)は、白砂青松の海浜が復元され、明石海峡大橋を一望できます。

⑤ 「道の駅」あわじ（右頁右下：写真）

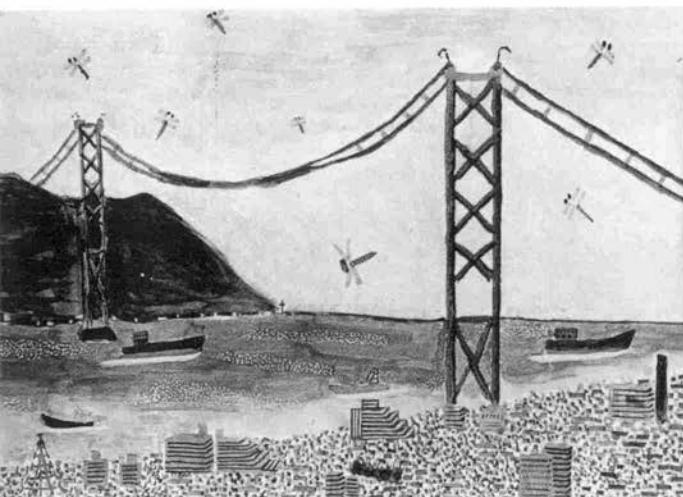
⑥淡路島公園ハイウェイオアシス（右頁左下：写真）

⑦あわじ花さじき：約16ヘクタールの花畠。四季折々の美しい花々が楽しめます。4月4日にオープン。

⑧野島断層保存館：阪神・淡路大震災で地表に現れた野島断層を保存・展示し、震災の教訓を次世代に伝えます。

⑨淡路ワールドパークONOKORO（右夏中：写真）

祝・明石海峡大橋開通



平成6年10月8日

垂水区長賞
大深 公久
(11歳 乙木小5年)

(明石海峡大橋写生大会入選作品集より)



平成9年10月11日

垂水区長賞
上山 裕之
(9歳 露ヶ丘小4年)

主催：垂水生活文化協会
財団法人井植記念会

後援：神戸市垂水区役所
本州四国連絡橋公団第一建設局

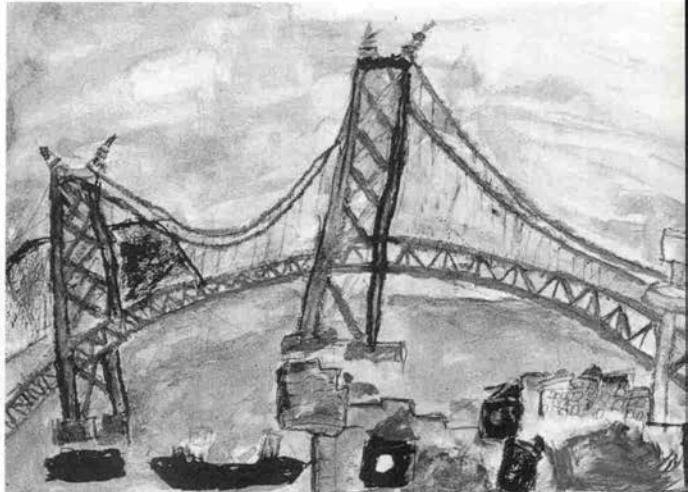
祝・明石海峡大橋開通



平成9年10月11日

井植記念会理事長賞
石木 さゆり
(4歳 桃の木幼稚園)

(明石海峡大橋写生大会入選作品集より)



平成9年10月11日

本州四国連絡橋公団賞
細川 悟
(7歳 福田小2年)

主催：垂水生活文化協会
財団法人井植記念会

後援：神戸市垂水区役所
本州四国連絡橋公団第一建設局

酔眼流旅日記 第21回

紅テント九州篇

(その四)

村松 友視（作家）

伝説の「ボタ山公演」から何年か経ち、私はふたたび状況劇場の公演を見るために福岡空港へ飛んだ。このときの演し物が何だったのかを思い出せないのが不思議だが、私は福岡空港から姪ヶ浜へ向い、そこから連絡船で能古島へ渡つた。状況劇場の紅テントは、その能古島の砂浜にしつらえられていたのだった。

ボタ山のときに、連絡もなしに出かけて行つておどろかそうとした試みが不発に終つた反省で、今度はしつかりと唐さんに連絡しておいたから、テントの中で稽古をしていた唐さんが、私をふり返つてにつこり笑つた。私は、唐さんの笑顔を見ると、つねにほつとするような、魔界へ誘い込まれる快感につつまれるような、奇妙な気分になる。そのときも、はるばる能古島へやつて来たのだが、ここは博多湾のオリーブの里なのか、紅テントがいたずらをしかける架空の地なのかをどちらとも決めかね、その決めかねる心持に快感をおぼえるという、実に唐十郎色の世界にひたつたものであります。

さて、唐さんたちが能古島で芝居をやるにあつて、李礼仙さん（現李麗仙）が海の彼方へ遠ざかつて行くラスト・シーンで、彼女が乗る舟を正確な方向へあやつる船頭が必要となつた

のだが、その役に選ばれたのが能古島の漁師のハッチャンだつた。

ハッチャンは、当時二十代の後半だったが、能古島で亡くなつた檀一雄さんにもかわいがれていたそうで、ハッチャンを唐さんに紹介したのは、檀一雄さんのご子息である檀太郎さんだつた。

ハッチャンは、舟をあやつることなどお手のものであり、役者ではないから稽古はやらない。時間を持て余したところへ私という門外漢がやつて來たので、恰好の話相手があらわれたと思つたのか、さつそく私になつてきた。ハッチャンと私は、能古島の酒屋で缶ビールを買い、浜辺であれこれ話しながら、唐さんたちが芝居をねり上げている時間をやり過した。

芝居のラスト・シーンにおけるハッチャンは有頂天だつた。何しろ、状況劇場の芝居の独特の盛り上りの中でのラスト・シーン……舞台奥のテントが開くと、その向うには本物の海がある。極めセリフを吐いた李礼仙が、いきおいよく舟に飛び乗る。ハッチャンはエンジンをかけてそれを待ち、一気に奥へ向つて舟を走らせる。その速度、方向を唐さんの指示通りにやるというものが、ハッチャンの唯一の仕事というわけだ。

カット／灘本唯人
題字／筆者

ところが、このときハッチャンは、思いもかけぬ芝居の気持よさを味わつた。

何しろラスト場面だから、音楽がひびき、ライトが主演女優李礼仙に当り、拍手や歓声が向けられる……ハッチャンは、それを自分に向かられたような錯覚におちいったのだった。何やらと役者は三日やつたらやめられないというが、ハッチャンは初日にして芝居の魔力にハマってしまった。

次の日、私と浜辺でビールを飲むハッチャンの表情は、ほんと夢心地をあらわしていた。こうやってハッチャンは、三日連続で芝居の恍惚感を味わつてしまつた。したがつて、状況劇場の面々が能古島から去つてしまつたあとは、まるで抜け殻のようになつていたのではなかろうか。

二、三週間あとのある日、ハッチャンは漁場へ行つて、網に石鯛が入つてゐるのを見て、そのまま福岡空港へ行き、飛行機に乗つて羽田へやつて來た。石垣鯛は唐さんの好物だから食べさせたい……そういう漁師の気持もあつたのだろうが、芝居の魔力にそそのかされたということもあつたにちがいない。ハッチャンは、漁師のゴムのつなぎ姿で飛行機に乗り、折から花園神社に紅テントを張つていた状況劇場の楽屋へあらわれた。その姿を、化粧をほどこし扮装をした役者たちが、いつたいどつちが虚構なかという気分で見守つたのは、言うまでもないことです。



（むらまつ・ともみ）一九四〇年東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。六三年中央公論社に入社。『小説中央公論』『婦人公論』『海』編集部員を経て、八一年退社。八二年『時代屋の女房』で直木賞受賞。主な著書は『私、プロレスの味方です』『アブサン物語』『トニー谷、さんす』『鎌倉のおばさん』など。





トアロード地区まちづくり協議会 (11)

★トアロード地区 エリアマップ完成

まちづくり協議会の役員、トアロード沿道、地元企業の出資によるまちづくり会社「トアロードまちづくりコーポレーション」が「トアロードエリアマップ」を制作した。トアロード一帯約300店が詳細に掲載され、周辺のまち歩きに活用できると好評だ。

マップは両面カラー刷りの縦長変形のA3判。取材、表紙や主要建物などのイラストはトアロードを都市計画の研究対象にしている立命館大学の学生が製作した。表紙イラストは坂道、インターナショナルなまち、多民族の共存というイメージに沿って描かれておりトアロードをおしゃれにうまく表現している。

同社の事務を担当している広瀬今日子さんは「雑誌等は各エリアごと

く仕上がっています。現在、タクシーハンドやホテルなどから問い合わせが相次いでいますが、理由はトアロードについてよく聞かれるのでとう声が多いですね」と語った。

マップは同社事務所や沿道の店舗などで無料配布するが、大量注文の紹介に終わりますが、このマップはトアロードを線ではなく面として全体的に見ることができわかりやす



(株)トアロードまちづくり
コーポレーション
広瀬今日子さん

宮定期観光バス案内所（交通センタービル1階）、阪神三宮駅、地下鉄三宮駅等で入手可能。問い合わせは同社 TEL 078・393・1371

★トアロードまちなみイメージコンペ★

「アーバンデザイン公募」

トアロード地区まちづくり協議会主催のトアロードまちなみイメージコンペのデザイン募集。コンペの概要はビジュアル表現を含むアイディア、トアロード沿道を含むまちなみ・まちづくりのグランドデザインとし、提案に盛り込む内容は①地区全体の将来イメージ②モデルゾーン（南部・北部）の将来イメージ両方を含めたもの。

募集期間…3月2日から16日必着まで

(公募作品は一人一点。未発表の作品に限る)

公開審査…3月下旬

最優秀賞30万円、優秀賞10万円、佳作5万円

◆応募作品送付先◆

〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-5-4 深澤ビル4階「トアロードまちづくりコーポレーション」TEL.078-393-1371

同協議会ホームページでも要項の案内をしている。アドレス toa@mari.n.or.jp

■トアロードまちづくり募金プロジェクト

「神戸外国俱楽部ヒマラヤ杉の電飾を進める会」へ
の募金ありがとうございました。

(株) 山勝真珠	T A C プロダクツ
嘉納千紗子	榎晴夫
田中正郎	芦尾長司
馬場万知子	(株) 堺屋太一事務所
前川富紀子	遠藤琴代
工藤松美	龍谷光三
神戸商工会議所 中央支部	(株) トモサダ
(株) クロス	岩尾啓子
柴田多嘉子	明石市市長室
吉島一彦・淑子	美澄お好み焼店/三浦澄子
平田有紀子	平成10年2月9日到着分迄
大久保佑	神戸レディス スパ/山田佳子





アジアンレポート 1

Asian Report

伊藤公生 <音楽プロデューサー>

香港

宝塚歌劇団香港公演

香港に咲いた日本のレビュー 「宝塚」ファンタジー

昨今、金融の不安定に話題の多いアジア経済。さめやすい日本のアジア・ブームも、これからが本物の国際交流の始まりともいえる。宝塚歌劇団香港公演で日本のショービジネスは香港でどう受け入れられるのだろう。

エンターテインメントは
国境を越える

昨年、センセーショナルに中国に回帰した香港。20数年前はまだこのあたりは海だった香港の文化地区「文化中心」の「香港カルチャーラルセントラル」で、香港觀光協會の「スポットライト香港」キャンペーンのハイライトとして、スポーツニッポン新聞社と1998宝塚歌劇団香港公演実行委員会が主催し、キャセイパシフィック航空会社の協賛を得、1月17日から宝塚歌劇団香港公演が旗揚げされた。

1938年に第一回ヨーロッパ公演に始まる海外公演も今回で20回目という記念すべき香港公演となつた。おりしもインフルエンザで觀光客離れに拍車をかけてしまった香港だけたが、日本から5000人の宝塚ファンが殺到。今年誕生した「宙組」

45名による第一部ジャパン・ファンタジー「夢幻宝寿頌」では、まさに春節にふさわしい舞台展開で日本の花が咲き乱れるようだつた。

第二部は、グランド・レビュー

「This is TAKARAZUKA」。もちろん、セリ、銀橋はないものの、舞台美術は宝塚ならではの華麗さ、そして、エンターテインメントの国境を越えた楽しさをみせつけてくれ、東洋の真珠の輝きは、香港の人たちにより、上質の娛樂を提供していく。

アジアンボップスの先駆者
ディック・リーも制作に参加

この香港公演でシルクロードあたりの伝説的場面の音樂を担当したシンガポールの作曲家ディック・リー氏とは、なみはや国体で一緒に仕事をしたこともあり、シンガポールで彼のミュージカルの作品もよく見ていたので、心地よい彼の作風が宝塚にびつたりだと香港公演に先駆け、演出家の三木氏に紹介したいきさつ



レセプションパーティで、左から小林公平会長、
ディック・リーさん、植田紳爾さん

があつた。

レセプションパーティで「日本の文化が海外で評価をうける、まさにアジアのショービジネスの中心で、そういう時、僕がここにいるつて素晴らしい」と、話す彼の言葉に、新しい文化交流が始まる予感がした。

すぐ隣の人たちのことをどれだけ知つているだろうか

少し前の新聞に香港の夜景が暗くなつたと報じられた。返還直前の香

港の夜景と比較した写真だつた。輝きは電気の力に頼る物理的なものではなく、街の活気ではないだろうか。

21世紀はASIAの時代とされたが、金融危機でほんとうかと不思議に思うだろうが、日本の高度成長期、考えていなかつたすぐ隣の人たちがゆつくりその力を發揮し始めただけであり、気がつくと、貧富の差はあっても真っ直ぐに自分たちの努力で培つてきた実力と歴史と文化の豊かさで、日本を超えている部分は多い。近所に気づかないと、21世紀はASIAの時代でも私たちには関係のない事になつてしまふかも知れない。

隣の席では香港のご夫婦が観劇の後、食事をしに行く予定だと話してくれた。見事にブラックタイとイブニングが決まつていた。輝く「香港」の眩しさは九龍のネオンだけではなく、香港島の裏側、レバ尔斯・ベイで見る星の美しさにもある。



宙組のスタートは、アジアから。左から和央ようか、姿月あさと、花總まり



ジャパン・ファンタジー／日本のエンターテインメントは「美」が原点



This is TAKARAZUKA／世界を巡る宝塚



ライター・瀬川直子（文・写真）



月組

WEST SIDE STORY

3/23まで宝塚大劇場で上演中

1957年にプロードウェイで初

演されて以来、世界各国で上演されているミュージカル「ウエストサイド物語」。宝塚でも68年に上演されたが、いま、宝塚大劇場で月組が上演している。

初日直前の2月9日、稽古場での最終稽古を取材した。

今回の演出・振付は、初演以来、海外での上演をすべて手掛けてきたアラン・ジョンソン氏。「最初は女性だけの劇団なので、ダンスをどこまでこなしてくれるか心配だったが、

右から真琴つばさ、アラン・ジョンソン、正塚晴彦、風花舞、紫吹淳

主演のトニーは真琴つばさ。「これまでになく力まず入っていけたし、自然な形でトニーが自分のものになりつつある」。

マリア役の風花舞は「結構、みなさんは映画のナタリー・ウッドのイメージが強いでしょうね。それは、アランさんが求められたマリアの質とちょっと違うので、また新しいマリア像を、舞台で見つけてもらえた」など。

ペルナルドも、日本人にとつては

素晴らしい努力で、オリジナルの振り付けを全然変更することなくこなしてくれた。この作品では、憎しみという、宝塚の本質とは一番かけ離れた感情が、キーになるが、その辺りの劇表現も明確で、力強い。これまで上演してきた数多くのカンパニーがそうであったように、舞台に立つて一週間目以降、グーンとパワーアップしてくるはずだ」と、手ごたえを感じている。

主演のトニーは真琴つばさ。「これまでになく力まず入っていけたし、自然な形でトニーが自分のものになりつつある」。

マリア役の風花舞は「結構、みなさんは映画のナタリー・ウッドのイメージが強いでしょうね。それは、アランさんが求められたマリアの質とちょっと違うので、また新しいマリア像を、舞台で見つけてもらえた」など。

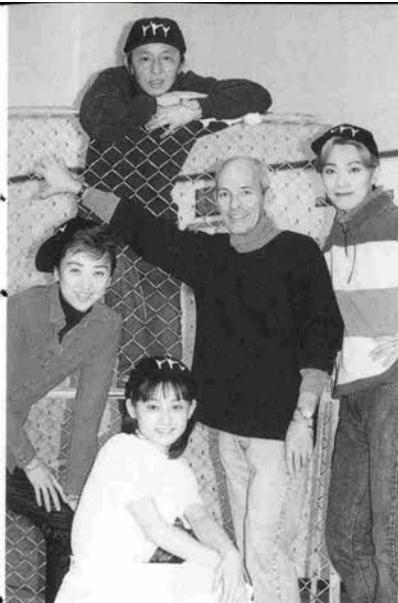
ペルナルドも、日本人にとつては

映画のジョージ・チャキリス像が強い役柄。「わたし自身も色の強い役が続いているので、それぞれの人間の微妙な違いを出していきたいし、改めて作品の深さを感じています」。

演出補として付いた正塚晴彦氏は「アランが求めたものは、リアルな表現で、それは僕自身がこれまで宝塚で追求してきたラインと同じ。今回、セリも益回しもなく、衣装もシンプルだけど、人間そのものがきちんと見えてくる作品になると思う」と稽古を通しての感触を語る。

実際、知っているようでは記憶に残っているのは、メロディラインとストーリーのごく一部でしかなかったことを、通し稽古で実感した。

「いま」へのメッセージを持つ力強い作品を、月組パワーが舞台でどう爆発させて見せるか。日を追うごとに深い感動を出演者、観客に呼び起こしていきそうである。





花組のトップスター真矢みきが、5月15日から始まる宝塚大劇場公演、

『SPEAKEASY』(スピーキークイー) — 風の街(シカゴ)の純情な

悪党たち「ナイバー」 — 恋の狙撃者 — で退団することを発表した。

(東京公演は8月10月)

81年初舞台、95年に花組のトップスターとなり、パッショネットな舞台を展開してきた。

現代的な感覚を大きな持ち味とした真矢は、退団前に、宝塚のスターとしては初めて7月22、23日に日本武道館でスーパーリサイタルを開く。フィナーレを飾る挑戦、見逃せない。



雪組

安蘭けい初主演

雪組の若手No.1としてパワーアップしてきた安蘭けいが、宝塚パウホールで初主演する。作品は、宝塚初の女性演出家としてデビューする植田景子作・演出の『Icarus』(イカロス) — 追憶の薔薇を求めて。



3月の星組東京公演は、帝国劇場で『ダル・レークの恋』が上演される。宝塚でも名作を数々残した菊田一夫のリバイバル作品で、主演の麻路さきと星奈優里の息詰まる大人のラブロマンスである。



宙組宝塚大劇場公演

『エクスカリバー』『シトラスの風』

3/27~5/11

S席7500円 A席5500円

B席3500円

行き所のない淋しさや不安、戸惑いなど、現代の誰もが感じている何かを、イカロスという少年のキャラクターを通して描く。ストーリー性を

排し、イメージと言葉で「心」を伝える冒險作である。

・宝塚パウホール公演『Icarus』
3月8日まで 4500円

★星組帝劇公演 『ダル・レークの恋』



インドのダルルークを舞台に、麻路・星奈の新トップコンビがあでやかに、異国情緒たっぷりの悲恋を演じる



98年の1月1日に誕生した5番目の組、宙組が小

池修一郎
作・演出の

『エクスカリ

バ美しき

騎士たち』と

岡田敬二
作・演出の

『シトラスの

風』で3月27

日からお披露目公演を行う。

トップスター姿月あさと、娘役トップスター花總まり、二番手男役スター、和央ようかという大型トリオを中心には、1月の香港公演でさわやかな印象を残して好スタートを切った宙組。公演ボスターもフルメンバーで始まる本拠地、宝塚でのデビュー。どんな風を巻き起こすか楽しみである。

・『ダル・レークの恋』3/30まで
S席8000円 A席5500円 B席3500円

宙(そら)組お披露目公演

新均等法下の「人財」活用フォーラム

主催 兵庫県経営者協会・兵庫女性少年室・財21世紀職業財団兵庫事務所



ある集い ■ 女性産業人懇話会<VAL21>

新時代の働く女性を応援

私ども女性産業人懇話会（愛称VAL21）は兵庫県経営者協会の専門部会の一つとして、96年9月に発足した働く女性の勉強会です。毎月1回の例会では、行政の方々にも参加頂きながら、男女共生の新しい時代が求める「人財」としての働く女性のあり方を研究しています。さらには、アンケート調査、シンポジウム、研究会などを通じて企業に積極的に働きかけ、また、働く女性に対しては、仕事への意識や取り組み方など、メンタルな面の支援もしています。

昨年末には、男女雇用機会均等法の改正に伴い、特に積極的に女性管理職を登用しておられる、または、女性が元気な会社の、すてきな人事関係の責任者の方にお集まり頂き、女性の積極的活用や女性管理職登用についてのフリーパネルディスカッションを開催し、本音の意見交換ができました。

女性管理職の数は、数字上はまだ少ない状況ですが、均等法以降着実に増えてきているという手応えを感じています。メンバー…山本絹子（代表幹事／パソナ・シニアバイスプレジデント）、田中裕子（夢工房／社長）、陸田昭子（本高砂屋／広報部長）ほか24名。オブザーバー…兵庫女性少年室室長・富田契子氏、兵庫県生活復興局長兼労働部次長・清原桂子氏ほか9名。

●当会にご関心のある方は、事務局兵庫県経営者協会（電話078・321・0051）まで。

ひと、まち、こころ、21世紀神戸号ティクオフ!

40
TAKE OFF!
Kobe x Tomorrow

—21世紀ビジョンの実現をはじめよう—

1998年度 社団法人 神戸青年会議所



ある集い ■ 神戸青年会議所

青年経済人の活発な議論の場として

「明るい豊かな社会」の実現を目指して創設された神戸青年会議所も、本年四十周年を迎えることになりました。神戸の青年経済人の集まりとして、様々な社会奉仕活動を行なながら、気が付けば現役会員三百二十名、特別会員九百名を数える大きな組織になつていきました。

余り一般的には知られていない団体ですが、地元の経済界で活躍されている方の中には神戸青年会議所出身者が沢山いらっしゃいます。また、現役メンバーの中ではそう言つた方々の二世というメンバーが活躍するようになっています。

そんな中で神戸青年会議所は、地元経済界のネットワークの一つの大きな核となると共に、地元企業の後継者の修行の場として大きな役割を果たすようになってきました。

利害関係が無く、立場も同じもの同士、地元のためにと知恵を絞って色々な事業を企画し実行しています。時には口論になることもありますし、今まで経験したことのない事業でとまどう事もしばしばです。しかし、みんな他では出来ない素晴らしい体験であり、将来の経営者としての糧になると信じて、損得勘定抜きでがんばっています。(理事長／奥井秀樹)

■社団法人 神戸青年会議所

神戸市中央区港島中町6・1 神戸商工会議所会館6F
事務局 TEL 078・303・0075